

※ 講演する滝川さん
「八代海北部沿岸都市」地域連携創造会議は、八代海北部沿岸地域の活性化を目的に設立されたもので八代市、氷川町、宇城市、上天草市で構成されています。



不知火海で捕れた海の幸を試食する参加者たち



海 「八代海北部沿岸都市」地域連携創造会議研究会 造計画を進めよう

5月20日に不知火公民館で行われ、約250人が出席しました。熊大教授の滝川清氏が「八代海的环境特性と地域づくり」と題して研究結果を基に講演。「沿岸域に暮らす市民やNPOなど、個人が積極的に海

域の環境・防災について考え、議論し、できることから取り組んでいくことが重要で

す」と提言しました。終了後は不知火海で捕れた新鮮な海の幸の試食会もあり、オダエビのかきあげ、石がねの味噌汁、トクアミ(とっかん)・ヒイカゴの煮付けに出席者たちは舌鼓を打ちました。

アサリ貝の詰め放題は大人気



海 まっちゃ朝市13周年記念イベント の幸がた〜くさん

5月21日に開催され、不知火町松合の本町通り商店街は地元の人たちにより農産物や海産物、山菜おこわ、乾のりなど販売され、早朝6時前からたくさんの買い物客でにぎわいました。アサリ貝の詰め放題や名物『えび入りだご汁』と『みそ詰め放題』には長蛇の列。だご汁を食べた後、「みそ詰めに行かない!」と足早に去るお客も見られました。

三 第12回熊日旗城南地区中学生野球大会 角中が好ゲーム

4月29日から5月4日かけて八代市などの会場であり、初の決勝進出となった三角中学校野球部が、参加チーム数96チームの中で準優勝と大健闘しました。三角中は準決勝で八代三中进行を2対0で下し、決勝戦で宇土鶴城中に3対2で敗れ、惜しくも初優勝を逃しました。この勢いで中体連でも優勝目指して頑張ってもらいたいものです。



「中体連では1番を目指します」と張り切る部員たち

川沿いをごみを拾いながら移動する参加者



環 緑川の日一斉清掃 環境美化に取り組もう

4月29日(土・みどりの日)に豊野町で、地域おこし団体「ゆめ・豊野塾」(伊藤家次会長)を中心に300人を超える地域住民が、浜戸川と小熊野川流域の清掃を実施しました。

これは、地域住民やボランティア団体、行政機関などが協力して環境美化に取り組むもので、緑川流域の12市町村で行われました。

参加者は4班に分かれ、浜戸川と小熊野川沿いを歩きながら捨てられた空き缶、不燃物などのごみを拾いました。

参加者の話では、「作業を始めた当初よりもごみの量は少なくなった」とのこと。それでも、集まったごみはトラック6台分あり、参加者は川をきれいにした自らの行為に喜びもひとしお。

作業終了後、浜戸川に架かる薩摩渡し(石橋)一帯でカヌー体験も行われました。

グ 花フェスタ親子スケッチ大会 ランプリが決定

4月に岡岳総合運動公園で開催された宇城市フラワーフェスタの親子スケッチ大会の審査が5月2日に行われ、応募総数86点の中から松本茉李南さん(7歳・松橋町曲野)がグランプリに選ばれました。また準グランプリに上村瑠菜ちゃん(八代市)、匠涼太郎君(松橋町西下郷)、松本麻鈴さん(松橋町曲野)が選ばれました。



グランプリに輝いた松本さんの作品「うきうきわくわく」フラワーフェスタ

小学校最後の思い出の作品が入賞した3人。左から稲村美樹さん、庄村拓摩君、関暁音さん(いずれも現在松橋中1年)



9 日専連くまもと児童版画コンクール表彰式 768点の中から6人が入賞

5月14日に県立美術館で行われ、豊福小と豊川小の児童6人が表彰されました。また全国コンクールの表彰もあり、稲村美樹さんが金賞を受賞しました。入賞者は次のとおりです。▼銀賞および全国コンクール金賞・稲村美樹さん(豊福小6年)▼特別賞・庄村拓摩君(豊福小6年)▼銅賞・関暁音さん(豊福小6年)、池上亜優さん、大村若奈さん、水落有希穂さん(以上豊川小5年)※学校名・学年は作品応募当時(1月20日)のもの。